



わくわく倶楽部

江口グループ

第173号

令和3年12月発行



正解のない時代には何が求められているのか

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

★

皆さん、こんにちは! 江口グループわくわく倶楽部ニュースレターを読んで頂きありがとうございます。2021年はあっという間に残り1ヶ月となりました。今年も昨年に引き続きコロナで大騒ぎでしたが、ここ最近国内での感染者数が減少し安心を感じることができるようになりました。(11月15日現在)このまま収束して欲しいなと願っています。

今月は藤原和博さんの「55歳の教科書」という本をご紹介しますように思います。コロナで大きく変わったこの時代に、とても共感できる内容でした。

★

東京大学で講演をさせてもらったとき、私はこんな話をしました。正解を見つける力(=私は「情報処理力」と呼んでいます)で君たちは東大に入った。しかし、これから求められるのは、正解のない問題にアプローチする力(=こちらは「情報編集力」と呼んでいます)である。気をつけたほうがいいと。

正解のない時代には、何が求められてくるのか。私にはひとつの答え、があります。それは、正解を最初から求めようとしない、ということ。もっといえば、正解が自分の中で出るまで動かないのではなく、まずは一步、踏み出してみることです。多少無謀でも、踏み出してしまう。これからの人生は、昔のようにはっきりと未来がイメージできるものではありません。それこそ、見上げて坂の上にはすっかり霧がかかってしまっている。ただ、ここからの行動で人生は大きく変わります。

私はよくこれをゴルフに喩えます。350ヤードのミドルホールがあるとします。成長社会というのは、ホールがすっかり晴れていた。とりあえず、グリーンもピンもはっきり見えます。風向きもわかります。それでキャディさんに相談して、ドライバーで行くかアイアンにするか、といった判断をします。しかし、成熟社会ではそうはいきません。霧でホールがまるで見えないのです。しかも、いつまで経っても霧は晴れてはくれない。晴れないとすれば、とにかく打ってみるしかありません。霧が出ていても、コース案内図はありますから、少なくとも方向だけはわかります。クラブも何でもいい。とにかく打ってみる。よく見えないから精度は低いけれど、なんとなくぼんやり、こっちはないかな、という方向はわかる。打っていくとだんだん、やっぱりそうだった、いや違ったということもわかる。やがてグリーンが見えてきます。まだピンは見えないけど、再び打ってみると、いまピンの横を通り過ぎた、と、とうとう見えてくる。なるほど、ここにあったのか、とカップに向かってはいよいよパットしてボールを入れる.....。

もう正解がない時代なのだ、ということ認識できていないとどうなるか。じっと待つてしまうことになるわけです。そのうち霧も晴れるだろう、と打ち出すことをしない。キャディさんに、あれやこれやと相談したりするけれど、自分では何も決められない。「グリーンの方(ゴール)が見えないんじや、選べないよ」とクラブの選択すらもできない。風向きがどうだ、雲の動きはどう

だ、といろんなことが気になって、結局、打ち出せない。こういう人が、日本には少なからずいるのではないのでしょうか。

ゴルフでは、次のホールも待ち構えています。さっさと打ってしまわないと、次のホールに行けません。正確を期して待つという方法も晴れる見込みがあるならいいのですが、そういった保証はないのです。しかも、成熟社会では、そもそも戦い方のルールが違ってしまっている。できるだけ正確を期して、どんなに時間をかけてもいいから少ないショットでゴールに辿り着く、というルールではなくなってしまった。何打打ってもいいから、とにかく早くゴールに辿り着く、というルールに変わっているわけです。これがまさに、成長社会から成熟社会への変化だと私は考えています。

霧が晴れるのを信じていつまでも待ち続けている人より、ショット数は多くてもさっさとホールをこなしていく人のほうが勝つのが成熟社会です。なぜなら、人生ははるか長く連なる山々のごとく、長いのですから。ショットを試行錯誤でこなしているうちに、どれくらい打てばいいかの勘所も掴めるし、霧への対処法もマスターできるでしょう。正解、にこだわることなく、「修正」を繰り返していくことで、経験を積み上げ腕を上げていけばいいのです。古いルールに呪縛されている人は、ルール変更が大きな足枷になります。むしろ成熟社会では、経験の浅い子どもたちのほうが、うまく生き抜く術を手に入れるかもしれません。実際、霧に怖じ気づいて待つてしまう大人は多い。保守的な大学生たちの就職動向について心配していると書きましたが、反面、さっさと独立し、起業したりNPOなどの社会活動に身を投じる若者たちも増えてきています。失敗するかもしれませんが、精神的にタフになるでしょうし、その無謀さを支援してくれる仲間を得ることにもなるでしょう。そうやって経験を積んだ彼らなら、世界の若者たちとの競争にも立ち向かっていける気がします。

だから、若者たちのことはあまり心配していません。むしろ、古いルールに縛りつけられ、何をすることもつい待つてしまう大人たちが心配です。それでは、ちっとも前に進めないからです。「坂の上の坂」だって、上れないでしょう。ただ、一步前へ、踏み出すこと。失敗したら、修正すればいい。それこそが、どこに落ちているわけでも、隠れているわけでもない「納得解」に近づく最短距離なのです。

★

本当に今は何が正解かさえ分からない時代だと感じる人が多いです。先が見えない真っ暗闇の時代は、勇気を出して、とにかく一步を踏み出すしかないなって思いました。そして、転ぶのが、傷つくのが、一步を踏み出すことこそが、正解に近づく最短の道なのだと思います。迷わずに一步を踏み出すこと。一步前へ、踏み出すことのできる人でありたいと思います。

4代目の江口グループ現場だより

木場潟スマイル花壇の笑顔が復活しました!

江 口グループで管理をしている笑顔の形の木場潟のスマイル花壇は木場潟南園地にあります。しばらく草がボーボーで、花も元気がなく、笑顔がいまいちだった時期が続いていました。でも、やっとのこと笑顔いっぱいスマイル花壇が復活しました!! 皆さん、本当にお待たせしました!

社員のみんな、そしてCHIKACO姉さんの息子くんも助っ人に加わってくれて、スマイル花壇を笑顔いっぱいにしました。色とりどりのビオラの花を約300株植えました。草むしり、土を耕し、肥料を撒いて、花を植える。色のバランスと配置は、このスマイル花壇をデザインした「えぐちの庭」の中田さやかさんが考えてくれました。みんなで力を合わせ約1時間で笑顔が復活しました(^^) やっと笑顔いっぱいのスマイル花壇になって自分たちも嬉しいし、スマイル花壇も嬉しそうです!

ス マイル花壇は7年前に、江口組が木場潟の工事をしていたことをご縁に造ることになりました。木場潟を訪れる人が笑顔になったら嬉しいな、木場潟が笑顔いっぱいの公園になったらいいなと、さやかさんがデザインし江口グループで管理しているのがスマイル花壇です。ニコニコかわいいスマイル花壇は木場潟南園地にあります。南園地の事務所から芝生広場に行く、橋の手前にありますよ!! これから寒い季節になりますが、もし木場潟のウォーキングやランニングにいかれる時は、ついでにスマイル花壇によってみてください! そして、写真を撮ってSNSにでもあげてもらえたら、より嬉しいです(^^) 笑顔あふれる木場潟になりますように!!

笑顔が復活!

みんなで頑張りました

おかげさまで3年連続知事賞を頂くことができました!

11 月10日(水)に石川県庁で「令和3年度国土と交通等に関する知事表彰式」が行われました。その中で、優良建設工事として江口組で工事をした「金沢美川小松線地方道改築工事函渠工その3」が県知事賞を頂きました! ありがとうございます!! 社員みんなの頑張りそして関係者、地域の皆さんのお陰です。知事賞はこれで3年連続の受賞となりました。社員のみんなの頑張りがこうやって評価されたことは本当に嬉しく思いますし、みんなの頑張りを誇りに思います。

知 事賞を受賞したのは川北町で行った工事です。この工事は2024年開通を目指す加賀海浜産業道路の工事の1つです。ものづくりが盛んな南加賀地域と金沢港を結ぶ大切な道路です。夏や冬のコンクリート打設では品質管理に最新の注意を払い、管理にはいろんな工夫を施して、いい品質のボックスカルバートが仕上がるようにと現場代理人の渡辺部長たちが一生懸命頑張って造りました。工事中は大変なことがありましたが、完成したボックスカルバートを見て、立派なものを造ったなと感動しました。これからも地域の安心安全のため、そして皆さんの豊かで幸せな生活のために社員みんなで頑張ります!!

完成した
ボックスカルバート

工事中の現場

谷本知事から表彰状を
頂きました

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式Facebookページ

www.facebook.com/eguchigumi/

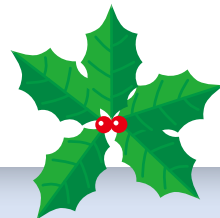


(株)江口組公式Twitter

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願いします(^^)／



可愛いキャラクターたちが “ひと涼みアワード2021”優秀賞受賞しました!!

★ 年の夏も暑かったですね～、さて環境省が参画する「ひと涼みアワード2021」で江口組がこの夏に職場や現場で行った熱中症対策の取り組みが「職場啓発部門」で見事に優秀賞に選ばれました！この夏も工事現場での作業中に熱中症にならないようにと、様々な工夫や啓蒙活動を行いました。その中で、江口組のキャラで作ったLINEスタンプによる熱中症の注意喚起を行う取り組みを表彰していただきました。今では誰もがコミュニケーションツールとして使っているLINEです。そのLINEスタンプをオリジナルの可愛いキャラクターを使い作成しました。その中に熱中症対策のスタンプを使い、社内のLINEグループをはじめ現場で働く人同士のLINEで熱中症の注意喚起を行うために使用しました。LINEスタンプは熱中症対策だけでなく、コロナ感染対策の注意喚起スタンプもあります。

★ と涼みアワードとは、熱中症予防の啓発活動を審査・表彰する取組で、2012年から毎年秋に開催していて今年で10回目だそうです。プロジェクト賛同会員による様々な活動を、会員同士で共有、また国民の皆様が発信し、熱中症予防の啓発の輪を広げていくことを目的としています。



可愛いLINEスタンプ

文化の日に親子現場見学会を 開催しました。

★ 年は5組の方々が参加してくださいました！
★ ありがとうございます!(*^^*)

今回は江口組の「海と川」の現場見学と千代田機電さんで重機の乗車体験をしました。

工事現場では、江口組の若手社員からなぜこの工事をしているのかなど、工事の重要性の説明を聞きながら現場を見学しました。

今回参加してくれた子どもたちは小学校低学年の子が多かったですが、みんなとってもしっかりしていて、それぞれの現場で工事担当者が説明しているのを、真剣に聞いてくれていたのが印象的でした。

海の現場では実際に使っている、光波（こうは）と呼ばれる距離を測る機械で、3か所に置いた看板を見つけるちょっとした遊びをしてもらって、遊びながら現場の仕事の体験をしました。機械を覗く子供たちがとっても可愛いかったです！

最後は千代田機電さんで重機の乗車体験です。毎年これが子どもたちの1番人気です。

★ 子供たちが笑顔で楽しんでもらえて私も嬉しかったです♪ 親子現場見学会は、「みんなの生活をよくするために、土木工事をしているんだよ」ってことを子供たちが肌で感じられるいい機会です。ちょっとでも楽しくなって経験を通して、土木に興味を持ってほしいと思った見学会でした。

来年はお家かお庭の現場にも遊びに来てほしいなと思います♪



機械を覗く子どもたち

重機の乗車体験

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください！毎日どれかは必ず更新しています！



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!



工務部
酒井 夢大

「ジャイアントコーン」

大人になってから、アイスクリームを好きになりましたが、小さい頃は、コーンタイプのアイスを下から吸いながら、食べるのが我が家の食べ方でした。

皆さんも体験ありますか？(笑)

工務部 酒井 夢大

こんにちは。あっという間に12月ですね。
今年こそは計画をたて、そうじを終らせたいです。
今月のテーマも【こたつに入っても食べたい好きなアイス】です。

工務部
長谷川 恵章

チェリオ
アイスの中の
板チョコが絶妙

工務部
新谷 一真

「あずきバー」

甘い物の中で一番小豆が好きだから、

新谷

工務部
嶋名 康平

キリッ
です。

総務部
園井 彩梨愛

「きなこもち」

「ハーゲンダッツ
華もちシリーズ」
吟撰きなこ黒みつ

きなこ×おもちのアイスは
美味しいのでオススメです！

工務部
畦地 翔葉

雪見だいふく

モチモチしていて、冬でもおいしく
食べられる、

畦地

クリエイション江口
高橋 悠

赤城乳業のBLACKです！



チョコなのにさっぱり食やりののが
季節問わず食べたい！
お値段も価格で、スーパー、コンビニ、
両方で1年中売ってる
美味しいアイスです！

クリエイション江口
村上 昌洋



冬でも食べたいジャンボモナカ！

いつでも手にして
美味しいアイス！！

総務部
庄源 知加子

LAWSON

ウチカフェ 日本のフルーツ

め……ちゅ 果物！！本物の果物も食べたいよう
なアイスです。

今は、りんご🍏と梨🍐が主に自桃があまり。
私のオススメは 梨！！

LAWSONに行った時は、ぜひ見てみて下さい😊

お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、
ご意見・ご感想などがございましたら
ご連絡下さい！



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311代
eguchigumi@eguchi-group.co.jp